



慶應義塾大学ビジネス・スクール

自己臭恐怖で退職に至った技術者

主訴：自分の身体からガスが出ている。くさいので誰とも親密になれない。独りでいるときは臭いがしないが、会社の中で人と会ったり、話をしていると臭ってくる。オーデコロンや整髪料を使っても、臭いがする。周囲の人は私に気を使ってそしらぬ振りをするが、くさいの分かっているはずだ。臭いは、口、肛門、臍など、いたる所から出ている。COが「別に臭わないが・・・」と言うと、「いや実はくさいと思っていらっしゃるでしょう」と言う。こんな状態で会社生活が通けられるのか不安になる。会社を辞めたいが、辞めたらどうして食べてゆけばよいか分からない。

10

15

本人のキャリア：26歳の男性。理科系の大学を出て2年前から大手の電器関連の会社にエンジニアとして勤めている。仕事は、コンピュータを使った設計・開発の仕事。大学卒業と同時にこの会社に採用された。大学では材料関係の研究室に所属。コンピュータを使った実験、シミュレーションの技術が買われ、また指導教授の推薦もあって就職が決まった。

20

仕事は開発部で電器の部品の開発・設計をしている。頭は抜群に明晰で、誰もが一目置く存在。ほとんどの場合はコンピュータに向かって仕事をしているが、時々チームのミーティングがあったり、生産や品質管理など他部門の人との打ち合わせがある。他部門の人との打ち合わせになると特に臭いがひどくなり、その場を逃げ出したくなる。そんな訳で、打ち合わせもそこそこにその場から離れるので、後から打ち合わせどおりになつてないなどとの苦情が関係者から来る。そんな連絡ミスから、小さな失敗を繰り返している。

25

生育歴：本州のさる岬のひなびた漁村で育った。母親（保険外交員）と2歳年下の妹（看護婦）がいる。父親は本人が小学校3年のとき、家を出てそのまま帰らない。後から離縁状が届けられた。父親は同じ県の都市部で別の女性（再婚相手）と暮らしているらしいが、詳しいことは分からぬ。家では父親のことを話題にするのはタブーとなつていて、そのことについては誰も話さない。母親は、保険の外交をしながら本人と妹を育てた。

30

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールの渡辺直登教授が作成した。ケースに記載されている個人情報については、本人および関係者の尊厳と秘密を保護するため、当事者の了解のもと事実から逸脱しない程度に偽装されている。

本人は地元の中学、地域の公立高校を卒業して、1年自宅浪人の後、大都会にあるさる国立大学の工学部を卒業。大学の教養部で1年留年している。

臭いに気がつき始めたのは、高校1年生の頃。クラスの友達が「お前、くっせー」と言い合っているのを聞いて、自分のことを言われていると思った。それ以降、臭いが激しくなったり弱くなったりしていた。高校時代は、学年で1、2番の成績で、CLともうひとりの秀才（2年浪人して国立大医学部に合格）の2人がトップ争いをしていた。先生からの期待と、彼に負けたくないという意識から、友達関係はほとんど持たずに勉強していた。

浪人の後大学に入ったが、地方出身の自分と都会出身が多いクラスメートとの間に、知識・教養・ライフスタイル・出自、の圧倒的違いを感じて、「垢抜けない自分、女性にもてない自分」にコンプレックスを強く感じた。クラブは少しの間パソコンクラブに所属したが、「いつの間にか行かなくなっていた」。

大学では、大きな教室での授業では何ともないが、少人数の授業や演習・実技など、顔を合わせるメンバーが決まっている授業になるとおいが激しくなり、その場にいたたまれなくなった。教養部の時留年したのは、「においが出ているのが分かるのが恐くて」体育実技に出席できなかったため。

上司の対応：連絡不足によるミスが多いので上司が何度か叱責したところ、「においが出ている」と言って、その後会社を休みがちになる。遅刻も多くなった。上司が、遅刻を理由に再度注意するため呼び出すと、「においが出ている。人と話すのが恐い。自分のうわさが職場いっぱいに広がっている」と言う。上司が「病気」であると判断し、嫌がる本人を無理に保健室の産業医（内科医）のところに連れていった。その後、内科医から精神科に回され、精神科からCOのところへ。専門家への紹介と併行して上司が、家族にも知らせたところ本人が反発して、ふてくされた態度を取るようになり「においが出ているから遅刻しても仕方がない。あんた（上司）が俺を病人にした」と言って、平気で遅刻したり、重要な会議に遅れて来るようになった。売り言葉に買い言葉で、上司が「甘ったれるな。仕事ができないのなら辞めろ」といったら、突然辞表が出された。上司も含めて周囲が慰留したが一方的に会社を辞めた。会社を辞めた後、しばらくCOのところに通っていたが、家の近くの町工場に再就職することになったとの報告を最後に来談していない。

(注) CL = クライエント、CO= カウンセラー

5

10

15

20

25

30

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール

Contents Works Inc.